

1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

	単位	2020/12/31	2021/4/30	2021/5/7	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	27,444.17	28,812.63	29,357.82	30,714.52	2021/2/16	16,358.19	2020/3/19
NYダウ	ドル	30,606.48	33,874.85	34,777.76	34,811.39	2021/5/7	18,213.65	2020/3/23
円/ドル	円	103.25	109.31	108.60	114.55	2018/10/4	101.19	2020/3/9

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

~ 世界的な経済活動の再開と景気回復への期待から、上昇 ~

先週・先々週(4/26-5/7)の日本株市場は、日経平均が+337.19円(+1.16%)、TOPIXが+18.07ポイント(+0.94%)となり、世界的な経済活動の再開と景気回復への期待から、上昇しました。業種別(東証33業種)で見ると、鉄鋼、海運業、鉱業などの27業種が上昇した一方、医薬品、その他製品、電気機器などの6業種が下落しました。

先々週は、変異ウイルスを含む新型コロナウイルスの感染拡大への懸念や、今後発表される国内主要企業の1-3月期決算に対する警戒感などが上値を抑えてやや軟調に推移した後、週末30日は、大型連休前の持ち高調整や決算発表を受けた利益確定の動きなどから下落しました。連休明けとなる先週6日は、世界的な経済活動の再開と景気回復への期待が広がる中、好調な経済指標や決算発表を背景に、連休中にNYダウが最高値を更新したことなどを好感し、大幅に上昇しました。翌7日も、雇用の改善を示す経済指標の発表などを追い風に前日の米国株市場が上昇し、NYダウが連日の最高値更新となったことなどから、上昇して引けました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目	期間	前回
5月11日	Tue	中国	CPI(消費者物価指数)(前年比)	4月	+0.4%
		ドイツ	ZEW期待指数	5月	70.7
5月12日	Wed	日本	景気一致指数	3月	89.9
			景気先行指数	3月	98.7
		欧州	ユーロ圏製造業生産(前月比)	3月	▲1.0%
		米国	CPI(除食品・エネルギー/前年比)	4月	+1.6%
5月13日	Thu	日本	景気ウォッチャー調査現状	4月	49.0
			景気ウォッチャー調査先行き	4月	49.8
		米国	PPI(生産者物価指数)(除食品・エネルギー/前年比)	4月	+3.1%
5月14日	Fri	米国	鉱工業生産(前月比)	4月	+1.4%
			小売売上高(除自動車)(前月比)	4月	+8.4%
			ミンガン大学消費者信頼感指数	5月	88.3

決算発表予定	他	国内	海外
		5/10 カカコ、ハナツツク、ヤマハ、ライオン、ローマ、三菱重、伊藤忠、住友金属鉱山、千葉銀行、味の素、塩野義薬、日本郵船、清水建設 5/11 リソナHD、NTTデータ、カカコム、シヤブ、ソフトバンク、ダイキン工業、ダイワ、ハンパシ、ユー・エス・エス、三菱化学、出光興産、参天薬、小野薬、島津製作所、日本精工、日本酸素HD、日清食品HD、東ソー、武田薬、日産自、スバル、SUMCO、ハンナムHD 5/12 エーザイ、キリンHD、サントリー、シマダ、ソフトバンクG、テルモ、トヨタ、おぎん、リナイ、三菱HD、凸版印刷、大日本住友、大林組、富士HD、NTT、NEC、明治HD、浜松紡、資生堂、関西ペイント、ENEOS、TIS 5/13 いすゞ自、アコム、オックス、コナミHD、スズキ、セコム、トヨタ、三井住友HD、三井化学、三菱地所、住友不動産、住友化学、住友電気、博報堂DY、大塚HD、大日本印刷、太陽誘電、マクHD、旭化成、東レ、東京セゾール、東急、楽天F、王子HD、INPEX、スクエニHD 5/14 かんぽ生命、みずほHD、ゆうちょ銀、アズビル、オーブンハウス、味の素、ヤマト、ヤマハ発動機、ユニチャーム、三井不、三井住友F、三浦工業、光通信、大和ハウス、大成建設、大正薬HD、日本ペイントHD、日本郵政、日産化、朝日インテック、ホンダ、東芝、第一生命HD、近鉄GHD、阪急阪神HD、電通G、飯田GHD、鹿島、KDDI、SMC、T&DHD、アサヒGHD、ハモニック	5/10 ビジョンテック 5/12 アリアンツ、ハイエール、コルツ銀行、メルク 5/13 コイバース、ドラッグユニ、アリババ、エアビーアンドビー、ウォルト・ディズニー

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

~ 新型コロナウイルスを巡る状況や国内企業決算を確認しつつ、一進一退の展開 ~

今週の日本株市場は、新型コロナウイルスを巡る状況や国内企業の決算を確認しつつ、一進一退の展開が続くとみられています。新型コロナウイルスを巡り、緊急事態宣言の延長と対象地域の拡大による景気への悪影響は懸念されるものの、期間延長は概ね市場に織り込まれており、株価を一段と押し下げる効果は限定的とみられています。むしろ今後は、行動制限措置が維持される中で、新規感染者数の減少やワクチンの普及の進展など、将来的な経済活動の正常化に向けた動きに市場の関心が移るとみられています。また、今週ピークを迎える国内企業の1-3月期決算における足元までの状況は、21年度期初会社計画が事前予想を下回る企業が多く、今後も新型コロナウイルスを巡る不透明感や半導体不足などを背景に慎重な期初会社計画が優勢になると想定しており、当面は株価の重しに働くとみえますが、世界的に経済活動改善方向にある中で一段の業績下方修正懸念は乏しく、決算発表後は業績面での悪材料は出尽くしとなると考えます。その他の注目材料として、日本では13日の景気ウォッチャー調査、米国では12日のCPI、14日の鉱工業生産、小売売上高、欧州では12日のユーロ圏製造業生産、ドイツでは11日のZEW期待指数、中国では11日のCPIなどが挙げられます。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
Asahi Life Asset Management Co.,Ltd.
URL: <http://www.alamco.co.jp>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会